

作業申請画面

定期的なアクセスや、アクセス予定期間を設定



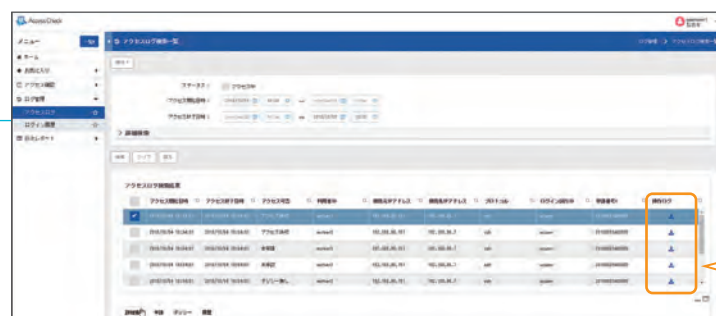
ポリシー設定編集画面

ポリシーの名称と内容、接続を許可するIPアドレス、承認レベルなどを細かく設定

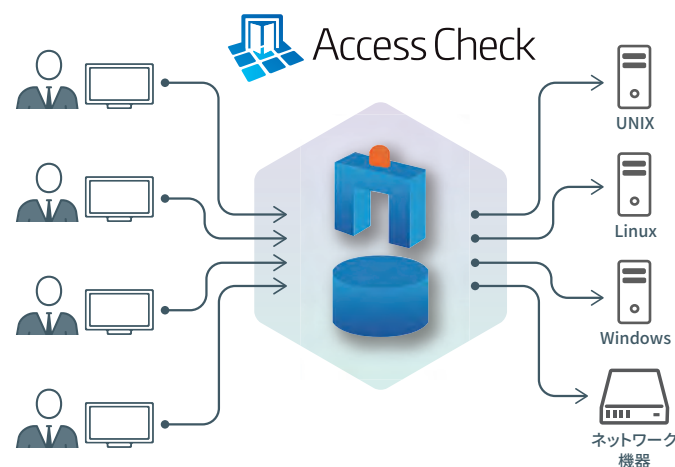


取得ログ一覧・検索画面

操作ログを動画ファイルとしてダウンロード可能



システム要件



対応OS	Red Hat Enterprise Linux Server 7 (7.5以降) ・同梱されているミドルウェア (MariaDB、OpenLDAP など) のインストール、設定が必要
ハードウェア 最小構成	上記 OS が稼働するハードウェア、もしくは仮想環境基盤 CPU : 2.5 GHz × 8 Core 以上 (x86_64) メモリ : 16 GB 以上 HDD : 500 GB 以上※ ネットワーク : 1 つ以上のネットワークインターフェイス ※ログ保存要件により、ディスク容量の増設が必要
対応言語	日本語、英語
管理対象 プロトコル	TELNET、SSH、FTP、SFTP、SCP、RDP、HTTP(S)、CIFS、Oracle SQL *Plus、その他 TCP

外部システムとの連携も可能

SecureCube / Access Check は、API を利用することで外部システムと容易に連携できます。Active Directory や他社のワークフローシステム、高度認証システム、統合ログ管理システムなどと組み合わせ運用でき、すでに導入・運用しているツールを無駄にせず、ニーズに即した環境を構築可能です。1 つのアクセス制御基盤で複数のサービスを提供するマルチテナントにも対応します (オプション)。

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル

info@nri-secure.co.jp

www.nri-secure.co.jp



※NRIセキュアテクノロジーズ、NRIセキュアテクノロジーズのロゴ、NRI Secureのロゴは、株式会社野村総合研究所の商標または登録商標です。

※本カタログに記載されたその他のすべての商標は、各所有者に帰属します。

© 2019 NRI SecureTechnologies

9213-0056-03-1902

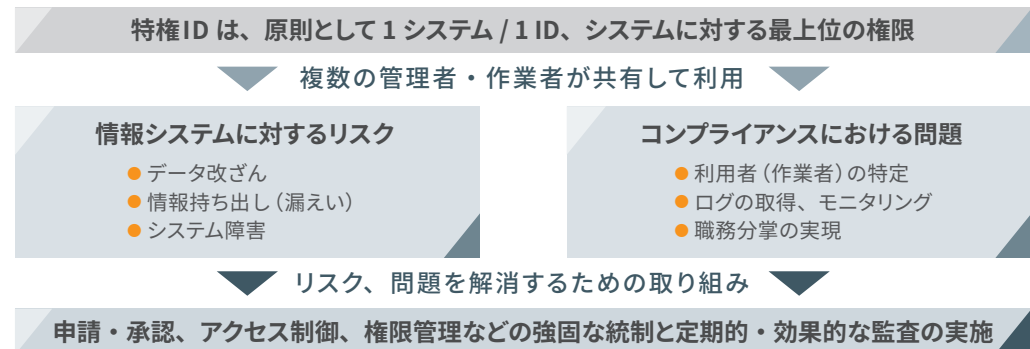
特権IDアクセス管理ソリューション



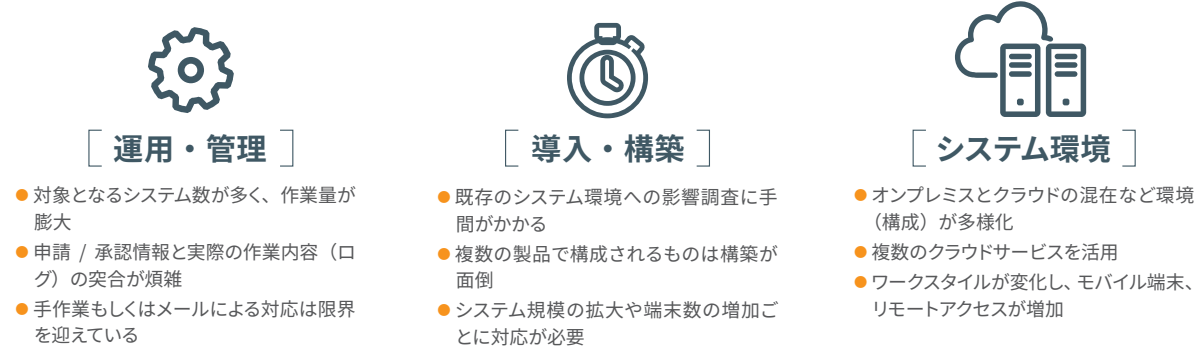
堅牢なアクセス制御で情報システムを守る 特権IDアクセス管理の オールインワンソリューション

特権ID管理とは？

情報システムに対して最も強い権限を持つ「特権ID」を適切に管理、運用することは、コンプライアンスの維持強化と情報システムへのリスク低減に不可欠です。各種監査や基準（J-SOX、SAS70、PCIDSS、FISCなど）に対応することはもとより、過失または故意による情報漏えいやデータ改ざんなどの不正行為を防ぐためにも、特権IDの管理・運用フローを整備し、確実な監査体制を確立することが求められています。



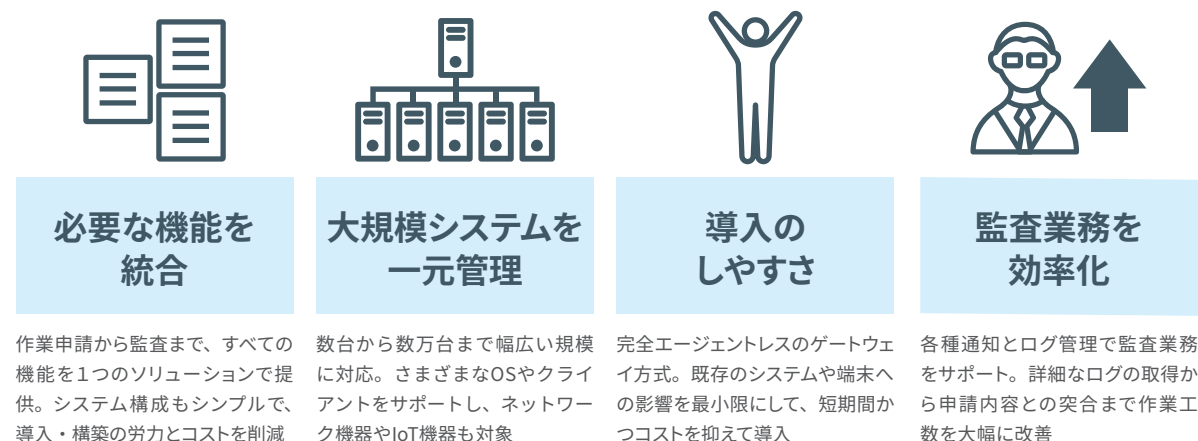
特権ID管理の実現における課題



Access Checkで特権ID管理の課題を解決

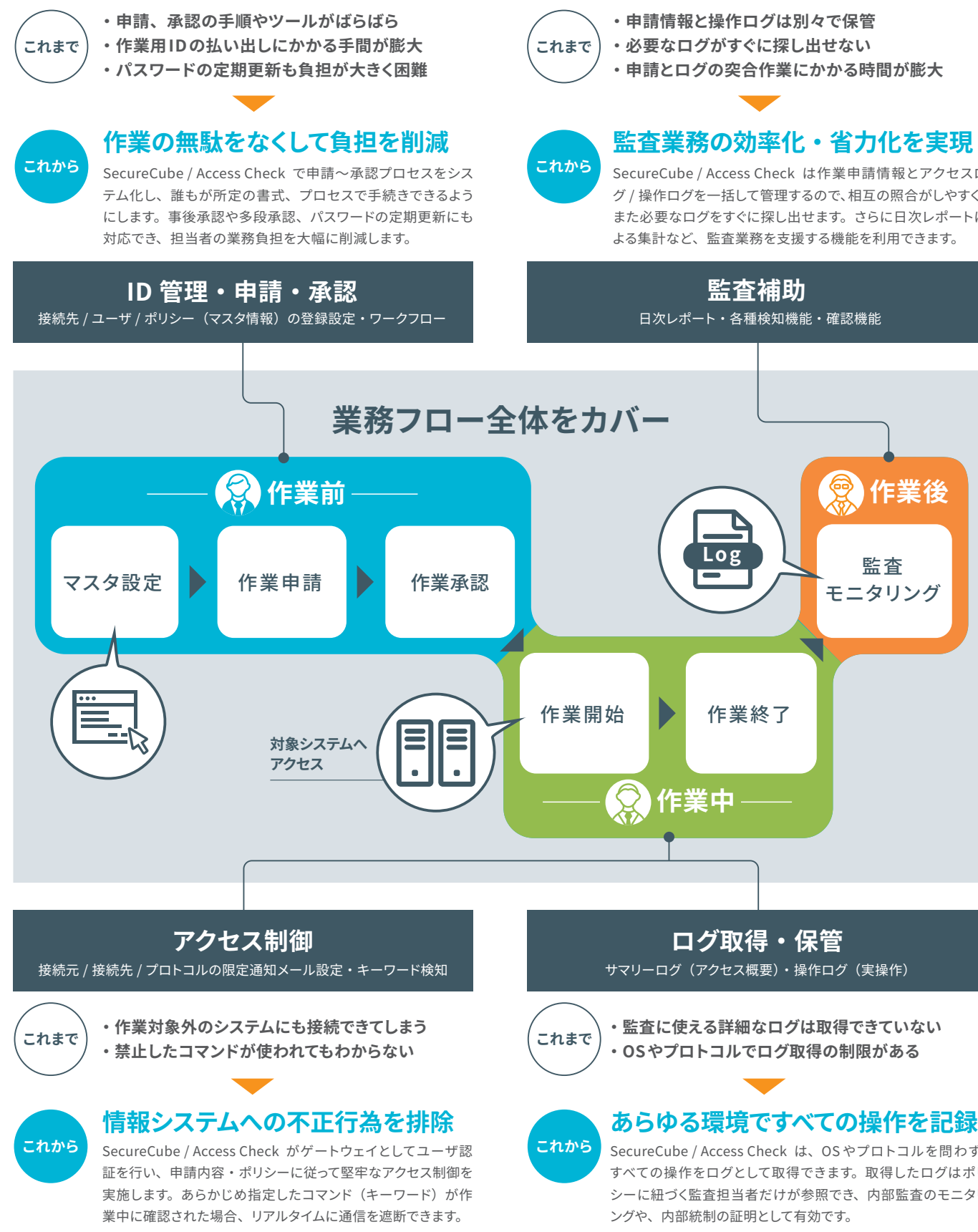
SecureCube / Access Check は、IT統制とシステム運用の現場を知り尽くしたNRIセキュアが提供する、ゲートウェイ型の特権IDアクセス管理ソリューションです。金融機関をはじめ、流通業、製造業など業種を問わずさまざまなお客様に導入いただいております。自社開発ならではのきめ細かい保守・サポート体制や、お客様の声を反映した機能拡張も高い評価を得ています。

Access Check が選ばれる理由



特権IDアクセス管理のベストソリューション SecureCube / Access Check

特権IDアクセス管理
シェア
No.1



※出典：
 ・ITR「ITR Market View：アイデンティティ/アクセス管理市場 2018」特権ID管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2017年度）SecureCube / Access Check, Cloud Auditor by Access Checkが対象
 ・ミック経済研究所「個人認証・アクセス管理型セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2018年度版」特権ID管理パッケージ